SAGAWA NEWS LETTER

佐川急便株式会社

このニュースレターは、当社の最新のトピックスを定期的にご紹介しています。

July · August

2024

TOPIC

複数の荷主様の荷物をまとめて輸送!

「共同配送」で2024年問題と環境問題を解決!

佐川急便では、いま「共同配送」に注力しています。 一般的に共同配送は、複数の荷主様が連携して同じ トラックで荷物を運ぶため、荷物の取り扱いや管理 が難しいのが実情です。集荷時間の遅延対応や荷量 に応じたトラックの手配など、荷主様間での適切な コミュニケーションと輸送計画の立案が求められる ことも、その実現の障害となっています。 今回は、当社が<mark>「共同配送センター」</mark>を設置して、 4社のパンメーカー様と密に連携することで実現し

た、「パン共同配送」の事例を紹介いたします。



Case Study

パン共同配送プロジェクト

パン業界では、配送コストの高騰やドライバー不足といった 課題があり、その対応が急務でした。そこで当社は大分県内 のパンの配送について、共同配送センターを設けることで パンメーカー様4社の商品を集約。出荷時間の違いや、小売 店の納品希望時間、商品の識別・仕分けの共通管理など、当 社が取りまとめ役を担うことで、共同配送が実現しました。

【荷主様】

フジパン株式会社様 株式会社フランソア様

株式会社リョーユーパン様 株式会社タカキベーカリー様









【提案輸送フロー】

パンメーカー様4社が個別で配送



after

佐川急便が各社のパンを集約し共同配送



共同配送センター 各社の商品を方面 別に仕分けて組み

合わせることで配

達の効率化を実現

小売店舗 共同配送 対象範囲 ・大分県全域 (日田市を除 **∰ ■**

(日本)・宮崎県延岡市、西臼杵郡

対象 463店舗

※【効果(年間)】

トラックの運行台数:約36%削減

CO₂排出量:約18.7%削減

各メーカー様の物流コスト:約8~10%削減

この取り組みは「**第25回物流環境大賞**

表彰(主催:一般社団法人日本物流団体連合会)」 で低炭素物流推進賞を受賞しました。



詳細は下記より

「2024年問題」の影響により、ドライバー不足が進み、2030年には約34%もの荷物が運べなく なると推計されています。そのような中で、物流効率化が見込める共同配送は有力な手段だと考 えます。一方で、最適な物流を実現するために、複数の荷主様の要望に合わせた非常に細かな調整 やスキーム構築が必要とされる物流ソリューションです。今後も自家物流や2024年問題でお困り のお客さまのお役に立てるように、尽力してまいります。 佐川急便 取締役 営業担当 本田 恵

各地の再配達削減や環境関連のイベントに参加!

<u>東京物流ビズで</u>都知事とトークセッション





東京都で行われた、東京物流ビズ「減らそう!再配 達」イベントに当社も参加。ブースを出展し、置き 配バッグの無償配布などを行いました。イベントで は小池都知事と配達員によるトークセッションも行 われ、当社からは女性ドライバーが参加。スマート クラブや配達予定通知サービスなどを紹介しました。

福島県の宅配ロッカー活用イベントに参加

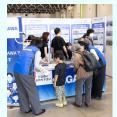


みんなでアタション! 再配達削減 に取り組もる!

福島県の「宅配ロッカー活用プロジェクト記念セレ モニー」に当社も参加。このプロジェクトは県と包 括連携協定を締結する株式会社ヨークベニマル様が 物流業界と連携し、宅配ロッカーの活用を推進する ことで、再配達削減を目指すものです。当社も賛同 し、脱炭素化を目指して取り組んでまいります。

八王子環境フェスティバルに参加!





東京都八王子市で行われた「八王子環境フェスティ バル」に当社のブースを出展。環境パネルを使った クイズを実施し、回答者にグッズをプレゼントしま した。参加者の皆さんには、楽しみながら当社の取 り組みを知っていただくことができました。

当社のLINE活用の成果を紹介





事業開発部 部長 佐藤による発表

東京都で行われたLINEヤフー株式会社様のイベント に、当社もLINEを活用する事業者として参加。LINE 通知メッセージを開始してから、スマートクラブの 会員数が増加したこと、特定地域の不在再配達率に - 2%の削減効果があったことなどを発表しました。

「物流を止めない」佐川急便の熱中症対策

当社は、外で荷物を運ぶドライバーや営業所内で仕分けを行う従業 員が多いため、事業継続の観点から熱中症対策に努めています。

① 朝食摂取確認

出発前に運行管理者がドラ イバーに朝食摂取の確認を 行っています(夏場のみ)。



② 熱中症対策品

「経口補水液」と「保冷剤」の応急 キットを車両に常備。また、塩飴や塩 タブレットを適宜配布することで、熱 中症を予防しています。



③ WBGT測定器で暑さ指数をチェック

WBGT値を計測し、従業員 に頻繁な水分補給や適切 な小休憩を取るように促 しています。

※WBGTとは、気温・湿度・輻射熱から 算出される「暑さの指数」のこと



④ クールファンベスト

冷却ファンを内蔵し、ベスト内部 に送風します。通常は仕分け業務 を行うスタッフが着用しますが、 猛暑対策として、運転職にも臨時 貸与しています。



『物流を止めない 持続可能な物流を』 特設サイトをぜひご覧ください!

社会課題とされる「物流2024年問題」をはじめ、持続可能な物流の実現に向けた当社の取り組 みを適宜発信しています。https://www.sagawa-exp.co.jp/column/



発行元:佐川急便株式会社 広報部 広報企画課 Mail:pr@sagawa-exp.co.jp

